



## 「今だから見直したい」

～子どもとの距離感～

新しい環境に期待し過ぎてしまうこの時期に。  
思春期のお子さんとの距離感を今、見直しませんか？

高校生の主張  私が伝えたい子どもの気持ち

第二弾

親子が適切な距離感で対等な関係性であるために、  
子どもだから言えることを！

今回は、過干渉な場合について。

お母さんやお父さんたちが、私たち子どもにたくさんの物事を教えてくれるのはすごく助かるけれど、なんでもかんでも決められたり、行動を制限されると自分の考えに自信が持てなくなってしまうんです。そうになっていくうちに、「もう面倒くさいしそれでいいよ。」と子どもが考えることを放棄してしまい親と子どもが対等に話すことができなくなってしまいます。

子どもだって好きなことや、考えていること、感じていることなど大人と同じように考えを巡らせています。親は子どもの意思を尊重させつつ、こういう選択肢もあるんだよ、と視野を広げてあげるのが役目であり、あくまで見守る姿勢を貫いてほしいんです。

過干渉の原因の一つとして無意識に「子どもを自分の一部」と考えてしまっている親御さんが多いようです。自分は自分。子どもは子ども。そんなふうに関と子どもの境界線を明確にしてどこまでだったら言っていいのか、一度心の中で落ち着いて考えてみてください。子どもの選択に後ろから優しく見守って、子どもが助けを求めた時に手を貸してもらえることが、子どもにとっても親とのベストな関係性だと思います。

次回のおしゃべり会のご案内 5/18 (土) 10:00～11:30 玉泉苑にて

4～5名程のアットホームなおしゃべり会です♪

学校に行きにくいお子さんのこと、学校のこと、不安なこと…など  
なんでも情報交換できます♪

お問い合わせ・お申し込みはこちらのQRコードで  
LINEを友達追加後、メッセージをお送りください。

気になる子どものための親育ちの会「はるにれ」代表 異 敦子

